

立教池袋 運動部通信 第94号

2023.1.17

～夏・秋の大会結果～

お待たせしました。運動部通信第二号です。
今回は夏から秋にかけての主に新人戦の結果をお知らせします。
各部新チームになってどんな活躍が見られたのでしょうか。
少しずつではありますが、観戦できる大会も増えてきたようです。
今後もっと緩和され、友人の試合も応援に行けるようになることを期待しましょう！

陸上競技部

秋の都大会 中高ともに上位に

高校生は9月に東京都高校新人大会が行われた。本校からの出場選手は少数となったが、5000m競歩に出場した高1中村が5位に入る健闘をみせた。実力ある選手でも歩形違反で失格になることがある競歩だが、まだまだ経験不足ながらもきれいなフォームを保ち、自己ベストを大幅に更新して歩き切った。競歩で都大会上位は本校では初のこと。次年度は関東大会出場枠が拡張されることが決定している。「コツコツ歩く」日々の努力が大きな目標を達成するときが来るか、期待が高まる。同じく棒高跳で出場した高1山内も初出場で自己ベストを更新して8位に入賞した。同種目で関東新人大会出場を目標にしていた高1川辺は直前でまさかの骨折、涙をのんだが、来年の関東に向けて二人で切磋琢磨して欲しい。

中学生では10月に行われた支部対抗大会(都大会)に豊島区代表として数名が出場した。中2山川が1500mで7位、中2花香が棒高跳で5位といずれも豊島区チームに貢献した。それでも夏の都大会で優勝を飾った花香としては5位の結果には満足できず悔しい思いをしたが、負けた経験をばねに来年さらなる飛躍をして欲しい。また、中2のリレーチームは豊島区大会で本郷中に僅差で敗れて都大会出場を逃したが、その本郷中が都大会では5位に入賞。実力が拮抗しているライバルチームの活躍には心が燃える。来年こそは個人種目に加えてリレーでも関東、全国を狙う。

3年ぶりに行った夏合宿を経て、目下厳しい冬季練習に益々力が入っている。中高ともに個人力、チーム力をしっかりと蓄えて次年度シーズンに向かっていきたい。



3年ぶりの霧ヶ峰合宿

中学山岳スキー部

1/5～6、長野県北志賀よませ温泉スキー場で行われた都大会において、中学生部員11名がそれぞれベストをつくし、以下のような戦績を残しました。

○回転

中学3年 竹田 柊晴	9位	中学2年 平崎 奏磨	58位	中学2年 中野 響	89位
中学2年 奥津 勝之介	98位	中学1年 飯島 琉誠	101位	中学2年 的野 悠大	103位
中学2年 中山 晃輔	108位	中学2年 矢嶋 透大	110位	中学1年 石毛 裕貴	129位

○大回転

中学3年 竹田 柊晴	8位	中学1年 柳町 晴音	25位	中学2年 平崎 奏磨	68位
中学1年 飯島 琉誠	96位	中学2年 中野 響	101位	中学2年 矢嶋 透大	115位
中学2年 奥津 勝之介	116位	中学2年 中山 晃輔	120位	中学2年 的野 悠大	122位
中学1年 石毛 裕貴	138位				

この結果で、中3竹田が全国大会の出場権を獲得しました。

高校山岳スキー部

1/5～8、群馬県鹿沢スノーエリアスキー場で行われた都大会において、高校生部員11名がそれぞれベストをつくし、以下のような戦績を残しました。

○回転(選考会)

高校2年 安藤 晴也	17位	高校3年 小野 俊	27位	高校2年 大澤 聖也	33位
高校1年 高橋 泰人	60位	高校2年 阪本 和真	87位	高校3年 本田 英希	94位
高校2年 亀島 留偉	100位				

○回転(本大会)

高校2年 鈴木 麻生	1位	高校2年 濱野 弘大	3位	高校2年 山内 大一	18位
高校3年 眞崎 嵩	20位	高校2年 安藤 晴也	37位	高校2年 大澤 聖也	82位
高校1年 高橋 泰人	84位				

○大回転(選考会)

高校2年 安藤 晴也	6位	高校1年 高橋 泰人	7位	高校3年 本田 英希	26位
高校2年 阪本 和真	44位	高校2年 亀島 留偉	60位		

○大回転(本大会)

高校2年 鈴木 麻生	1位	高校2年 濱野 弘大	7位	高校2年 山内 大一	21位
高校3年 眞崎 嵩	23位	高校2年 安藤 晴也	57位	高校3年 小野 俊	67位
高校1年 高橋 泰人	77位	高校3年 本田 英希	101位	高校2年 阪本 和真	108位
高校2年 亀島 留偉	109位				

この結果で、高2安藤、鈴木、濱野、山内、高3眞崎が関東大会、高2鈴木、濱野が全国大会の出場権を獲得しました。



ゴルフ部 秋の戦績

中学

○関東中学校ゴルフ選手権・Bブロック予選 (11/30 鴻巣 CC)

36 位③前田隆之介 (80)、47 位③谷口晃大朗 (85)、52 位③奥村康太 (88)、62 位③兼重海音 (91)

➡ 以上、関東大会決勝進出

66 位③中島大輔 (92)、82 位③片岡直樹 (119)

高校

○東京都高等学校ゴルフ選手権・秋季大会 (11/7 取手国際ゴルフ倶楽部・西コース)

6 位①中山真尋 (71)、22 位②諏訪貴皇 (77)、24 位②榎本聖大 (78)

➡ 以上、関東大会進出

31 位②山口聖生 (81)、56 位②江口未来 (88)、69 位②小倉魁真 (94)、84 位①武藤仁 (101)

○関東高等学校ゴルフ選手権冬季大会 (12/23～24 一の宮 CC)

38 位②榎本聖大 158 (80・78) 台風のような暴風に耐えました！

➡ 以上、全国大会進出

73 位①中山真尋 164 (86・78)、94 位②諏訪貴皇 172 (86・86)

今後の予定

○関東中学校ゴルフ選手権決勝大会 (1/17 千葉県真名 CC ゲーリープレーヤーコース)

○全国中学校ゴルフ選手権大会 (3/27～31 兵庫県三木ゴルフ倶楽部)

○全国高等学校ゴルフ選手権大会 (3/27～31 兵庫県オリムピックゴルフ倶楽部)



中学庭球部 試合結果報告

<都総合体育大会団体戦(7月)>
～ベスト24進出～

1R 4-1 対 都市大等々力
2R 2-3 対 東海大菅生

※以上の結果、3年生部員は惜しくも引退！

<関東大会個人戦(8月)>

ダブルス 出場 秋山俊・目黒

<都新人第4ブロック大会(8月)>

シングルス 優勝 岡崎

3位 平木

5位 熊谷

ダブルス 優勝 岡崎・熊谷

5位 青山・三本

<都新人大会個人戦(9月)>

シングルス ベスト32 岡崎

ベスト64 熊谷

出場 平木

ダブルス ベスト16 岡崎・熊谷

※以上の結果、都新人団体戦では第10シード獲得！

<都大会新人団体戦(10月)>

～第5位、関東進出～

2R 5-0 対 浅川

3R 3-0 対 城山

4R 3-0 対 小平五

5R 3-2 対 東海大菅生

QF 1-3 対 日大三

※第7シードを下し関東大会新人団体戦に出場決定！

<関東大会新人団体戦(11月)>

1R 5-0 対 東邦(千葉)

2R 1-4 対 橘学苑(神奈川)

※今年の夏のチームも、感染症拡大の影響により春合宿や練習試合を通じた鍛錬に恵まれず、限られた条件の中での活動を強いられたが、常に前向きに練習に取り組み、経験豊富な部員が他の部員を引き上げ、団体戦ではブロック優勝を経て都総体に進出した。惜しくも2回戦で敗退となったが、大声で自分を鼓舞しながら懸命に戦う姿にたくましい成長を感じた。ただ3年生が審判・ボールボーイ・応援を伴った全員参加の団体公式戦を一度も体験することなく引退となってしまったことに唯一悔いが残る。8月からの新チームも先輩たちの雄姿を目の当たりにして、都団体では果敢に挑戦して上位シードを破って関東に進出。関東では2回戦で第1シードに敗れるも今後の飛躍の可能性を感じる試合内容であった。

中高剣道部

前期中の大会を持って公式戦の場から3年生が引退、夏休み前後から新チームが始動、高校は1年佐久間、中学は2年柴田がキャプテンにそれぞれ就任した。夏休み中、合宿は残念ながら中止となったが、その他の稽古や錬成会ではしっかり自らを鍛えてきた。

秋以降に行われた大会の結果は以下の通りである。

【中学校】

豊島区秋季剣道大会(10月2日)

矢部…中1の部優勝

柴田…中2の部三位

立教池袋Aチーム…団体戦の部三位

第4ブロック秋季剣道大会(5月8日)

2回戦敗退

豊島区冬季剣道大会(1月8日)

矢部…一級の部優勝

高橋…初段の部三位

立教池袋Aチーム…団体戦の部三位

東京都私学大会

2回戦で国士館中学に敗退

【高校】

東京都秋季剣道大会(8月19日)

2回戦で敗退

豊島区冬季剣道大会(1月8日)

立教池袋Aチーム…団体戦の部2回戦で敗退

(その他、団体戦に出場できず)

高校生は部員数が少ないため団体戦には出場できていない。その中であって佐久間は黙々と稽古を重ねると共に、他校の稽古に参加させていただいたり、練習試合で他校のチームに混ぜていただき試合を重ねたりしている。高校剣道を始めて10ヶ月、今はまだ勝つことはできないが、地道に努力を重ねる姿勢、中高剣道部をまとめる姿勢が、いつか実を結ぶだろう。

冬は自身を地道に鍛える時季。春の大会を目指し、稽古を重ねたいと思う。



中学バスケットボール部

☆東京都夏季選手権大会結果報告☆

1回戦 立教池袋 37 - 60 千歳

前号でお伝えした通り、3年生は、豊島区選手権大会で優勝し、都大会に進出しました。残念ながら1回戦での敗退となりましたが、最後までベンチ一丸となり粘り強く戦いました。コロナの蔓延で、入学・入部が例年より遅い時期となり、社会情勢によって学校生活や活動が制限されることも多くありましたが、永嶺・盛武両キャプテンを中心に、よくまとまった素晴らしいチームでした。3年生、お疲れ様でした。

☆豊島区秋季新人大会結果報告☆

2回戦 立教池袋 40 - 28 学習院

決勝リーグ 立教池袋 49 - 23 駒込

立教池袋 46 - 29 巣鴨

立教池袋 30 - 50 本郷

豊島区準優勝、小野凌平が優秀選手賞を受賞

まだまだコロナの影響が続く中、新チームは夏休みの私立大会を経て、豊島区新人戦に臨んだ。準優勝という結果ではあったが、都大会出場は叶わなかった。スコアを見てもわかるように、DF面は機能しているが、特手力不足が課題であることが浮き彫りとなった。都大会がない分、その時間を地道なトレーニングや個の向上にあて、総合力を高めていこう。

感謝の気持ちをプレーに込めて、都大会出場に向けてがんばろう!!

☆中学1年生私立親睦大会実施☆

12月25日に1年生大会が実施されました。コロナ禍により、縮小した規模での実施でしたが、各校1年生が互いに切磋琢磨していました。

(顧問 廣瀬由紀・市橋祐介)



中学野球部

▽第75回 東京都中学校野球選手権大会

1回戦 vs 東葛西 2-2 (TB. 5-4) ○

2回戦 vs 由木 18-2 ○ (5回C)

3回戦 vs 駿台学園 0-7 ● (5回C) 東京都ベスト16 敗退

▽秋季豊島区大会 (新チーム)

2回戦 vs 学習院 7-0 ○ (5回C)

準決勝 vs 巣鴨北 7-0 ○ (5回C)

決勝 vs 本郷 3-0 ○ 優勝

▽秋季第4ブロック大会

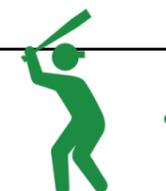
vs 志村第一 4-4 (TB 7-5) ○ 都大会出場 決定

▽第75回 東京都中学校野球秋季大会

1回戦 vs 安田学園 6-0 ○

2回戦 vs 修徳 1-8 ● (6回C)

3年生世代が集大成として挑んだ、夏の都大会。後の全国大会で優勝を果たす駿台学園に敗退をし引退を迎えました。1,2回戦では持てる力をすべて出し盤石な試合運びをしました。敗れた駿台学園に対しても持てる力を遺憾なく発揮してくれました。父母と選手が一体となり、熱く戦い抜いた素晴らしい世代でした。その後、夏休みの合宿から新チームが始動しました。暑い中、練習と試合経験を積み重ねた結果、豊島区大会から順調に勝ち進み連続で都大会に挑みました。2回戦では修徳に思わぬ大差をつけられ敗退しましたが、来春に向けて希望が持てる戦いぶりでした。世代が変わっても、選手と父母には熱い想いと伝統がしっかりと引き継がれています。2018年の都大会優勝から早4年。コロナに負けず、環境のせいにせず、熱い想いを絶やさずに選手と父母と指導者が三位一体となって、これからも頑張っていきます。やってできないことはない。念ずれば花開く。



次号は今年度の10大(重大)ニュース号、2月頃発行の予定です。お楽しみに!(編集担当)

中学サッカー部

中学卓球

秋季区大会 & 都新人大会

11月に行われた豊島区秋季大会では、個人では中2の朝倉が優勝し、一山、千葉、松井が入賞したことにより都新人大会への出場権を獲得した。団体戦ではそれぞれの活躍があり、優勝することができ1月の都大会への出場権も獲得した。12月の都新人大会では朝倉がベスト32、一山も2回戦まで勝ち上がった。千葉は健闘したものの惜敗。松井は骨折のため出場できず中1の懸田が代わりに出場。1月の団体戦では個人戦での悔しさを晴らしてほしい。



<私学大会（首都圏チャンピオンシップ 第四支部予選）>

一回戦	立教池袋	5-0	城北
二回戦	立教池袋	2-3	本郷

<秋季大会（新人戦）>

豊島区大会 予選リーグ

1 試合目	立教池袋	2-1	巣鴨
2 試合目	立教池袋	5-1	千登世橋
3 試合目	立教池袋	0-0	西池袋

豊島区大会 決勝トーナメント

ベスト8	立教池袋	3-0	巣鴨北
準決勝	立教池袋	1-2	本郷
三位決定戦	立教池袋	0-2	学習院

三年生にとって中学最後の大会となった私学大会では、強豪校と二連戦になったにも関わらず非常に質の高いプレーを見せ、あと一步のところまで追いつめることができた。三年生の皆さん、本当にお疲れさまでした。（顧問：新島 亮）

僕たち中学サッカー部は「都大会上位入賞」、そして「当たり前のことをしっかりとやる」という目標を持って日々活動しています。三年生が引退し、今は二年生と一年生から成る新チームで大会に向けて準備しています。自分はキャプテンとしてチームをまとめ、目標に向かっていくことと共に、皆が同じ方向を向いて努力していくチームにしたいと思っています。先輩方の良いところを吸収して、チームをよりよくできるように努めていきます。（キャプテン：相原 蒼）

僕は副キャプテンとしてキャプテンを支えつつ、皆で協力し部全体を盛り上げ、引っ張っていきたくと思っています。自分を含め、部員たちには一人ひとり違う課題があります。それを改善するためにも、毎日の練習一つ一つを大切にして、ブロック大会・都大会で勝ち進むことができるようにしていきたいです。（副キャプテン：塚本 龍熙）

サッカー部では皆が協力し、楽しく且つ真剣に活動することができていると思います。新チームの良いところとして、一年生と二年生が「学年」という垣根を越えて、とても良い雰囲気の中で活動できている点があります。また、メリハリもついていて給水時と練習時の切り替えも非常に良くできていると思います。

秋に行われた新人戦の大会では、予選リーグを二位通過して決勝トーナメントに進出したものの、残念ながら四位で終わってしまい、ブロック大会へ出れず悔しい思いをしました。この悔しさを糧に、練習や試合で力と経験を培って、最後の大会に向けチーム一丸となって努力していきたいと思っています。（マネージャー：吉田 晴）

高校サッカー部



新チームの状況

19名と少人数であるが、練習中は全員で声を掛け合いながら雰囲気盛り上げている。中3も11月後半から練習に参加し始め、徐々に雰囲気に慣れてきている。

新人戦地区予選結果

1回戦 対 晴海総合 3-3 (PK 2-4 ×)

1回戦でまさかの敗退。3-0とリードしておりながら、後半に同点に追いつかれ、PK戦に入り普段の練習に対する姿勢が悪いのか、ミスを連発し、万事休す。PK戦は普段、如何に真剣に練習と向き合ってきたかが問われる。それ以前にPK戦になってしまった試合運びを反省しなければならない。次の公式戦は来年度の4月、それまでの悔しさを忘れてはならない。（顧問より）

3年ぶりに開催されたOB会

コロナ感染の影響で、数年間開催されていなかったOB会（OBの方々との試合）が1/4(水)に初蹴りを兼ねて3年ぶりに本校グラウンドにて開催された。大学1年生から60代の方々までがサッカーを通じて高校生と共に汗を流した。



高校野球部

敗戦を春以降への肥やしに

2022年度秋季東京都高等学校野球大会1次予選

1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
RIKKIO	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3
筑波大付属駒場	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2

※延長10回

代表決定戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
RIKKIO	4	0	0	0	0	0	2	0	3	9
実践学園	0	4	3	0	0	0	1	2	X	10

3年ぶりに夏の合宿、山梨遠征などの宿泊を伴う部内行事も実施され、ほぼコロナ前と同じような活動ができた夏休みを経て臨んだ秋の公式戦。

初戦はなかなか打線が振るわず、相手の粘りもあり苦戦しながらも、投手が踏ん張り延長の末勝利を収める。

あともう一つ勝てば本大会となった代表決定戦は、いきなり4点を先制するがその後追加点が奪えず。徐々に相手のペースとなり逆転される。いつもならばそのままズルズルと負けてしまうパターンだが、今年はその踏ん張り終盤に追い上げを見せ、1点差まで詰め寄るもあと一歩及ばず。悔しい敗戦となった。

残念ながら本大会出場は叶わなかったが、強豪相手にも十分渡り合えることはわかったはず。この悔しさを忘れず、この冬の間しっかりと心身ともに鍛え、自信を持って春の大会を迎えてほしい。あと2か月、すぐにその時はやってきます。



高校庭球部

①第60回 東京都高等学校新人テニス選手権大会

(個人の部) 9月12日(日)～

▽ シングルス

予選決勝進出…三田 佑太郎 (1年)

本選5R進出…林 陸人 (1年) →都第5位入賞

本選6R進出…金子正人 (1年) →都第3位入賞

※金子は3月の全国選抜(福岡)の招待選手に決定

▽ ダブルス

予選決勝進出…佐藤 歩 (2年)・高橋慶至 (2年)

本選3R進出…原 穰太郎 (2年)・三田 佑太郎 (1年)

本選6R進出…林 陸人 (1年)・金子正人 (1年) →都準優勝

②第2回 東京都高等学校新人テニス選手権大会 (団体の部)

11月3日(木・祝)～

【登録選手】金子正人、林 陸人、原 穰太郎、三田佑太郎、佐藤 歩

雨宮礼旺、高橋慶至、山田涼馬、倍 亮輔

～本校第3シード～

5R 立教池袋 4-1 明星 6R 立教池袋 3-0 京華

7R (準々決勝) 立教池袋 2-3 日大鶴ヶ丘

以上、東京都ベスト8

③第45回全国選抜高校テニス大会 @福岡県

3月22日(月)～【個人戦】金子正人(1年)が出場予定

春の個人戦の結果を踏まえ、秋の新人戦では個人の部・団体の部ともにシードがつくスタートとなった。層の厚みが試されるポイント数の多い秋の団体戦。目標とする関東以上へ進むことはできなかった。特に、春の団体戦と同じ学校に連敗したことが悔しい結果であった。力が及ばなかったことを受け止め、長い冬に何をチームとして蓄えられるか。その戦いがすでに始まっている。(顧問)

高校バスケット部 

●新チームがスタート

3年生が引退し、新チームが始動した。部員は2年生が13人、1年生が13人の全26人の少数精鋭だが、先輩たちが達成できなかった都ベスト16を目指して頑張ってもらいたい。

上背はないものの、キャプテン川本、副キャプテン梅田を軸とした機動力の高いバスケットで、2年生を中心に日々意識の高い練習を積み、レベルアップをしている。引退した中学3年生も練習に参加しているので、ぜひ高校バスケットを早い段階で体感し、入学までのこの期間を無駄にせず、成長に繋げてもらいたい!

●新人戦第四支部大会

10/30 VS 武蔵野大高校 54-43○

11/3 VS 都立文京高校 47-52●

新チーム初の公式戦。1回戦は終盤に走りのバスケットを展開し、接戦を勝利。2回戦は終盤に猛追を見せて追いつけたが、あと一歩及ばず。相手のシュート力の前に敗れたが、個々の課題・チームとしての課題も明確となった。長い冬となるが、チーム一丸となって、心身ともに成長してほしい。去年から試合に出場しているメンバーが多い代なので、勝負できる力はある。この冬の飛躍に期待している。

